

小牧市デジタル移動系防災無線

ごあいさつ



小牧市長
山下 史守朗

平成22年度事業として整備を進めてまいりました。デジタル移動系防災無線システムが平成23年3月から運用できる運びとなりました。

ご承知のとおり、当市は、東南海・南海地震防災対策推進地域に指定され、さらに近年は東海地震と東南海・南海地震が連動して発生する可能性も指摘されております。市では、こうした大地震に備えるため、自主防災会の育成、緊急地震速報システムの整備、公共施設等の耐震補強など各種地震防災対策を推進しております。また、地震災害のみならず過去には昭和34年の伊勢湾台風、平成12年の東海豪雨など、台風や大雨などによる災害も経験しております。こうした自然災害はいつ発生するかわかりませんが、十分な防災体制の整備充実に努めておくことが大切です。

本システムは、災害対策本部（市役所）と消防署、警察などの防災関係機関、電気、ガス、水道などのライフライン機関、さらには学校等の避難所などに半固定無線局を設置するとともに、市の公用車、消防団車両などに車載無線局を設置しております。これらの無線システムの適切な運用によって、災害時にも情報通信網が確立され、被害の軽減、人命の保護に大きな役割を果たすと思われまます。

最後になりましたが、本システムの構築にあたり、関係各位のご指導、ご協力に心から感謝申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

平成23年3月

小牧市

- 人口 / 153,468人
- 世帯数 / 62,002世帯
- 行政面積 / 62.82km²
(平成23年3月1日現在)



名古屋市

愛知県

小牧市役所(基地局/統制局)

災害対策本部(小牧市役所)



統制台



基地局設備

市役所庁舎内に設置。統制局とデジタル専用線で結ばれており、移動局及び移動局同士の通信を確保します。



回線制御装置



直流電源装置



無線送受信装置

統制局設備

市役所庁舎内に設置。システム全体の通信を統括します。移動局とのデジタル無線通信による情報の収集・伝達を行う他、移動局相互間の通信を確保します。



情報収集・伝達

移動局



半固定型無線装置(52局)

防災関連施設や生活関連施設に設置。無線機と電源装置で構成され、必要に応じて屋外等に持ち出して使用することもできます。(停電時でも無線機に内蔵されている蓄電池により24時間は使用することができます。)



携帯型無線装置(20局)

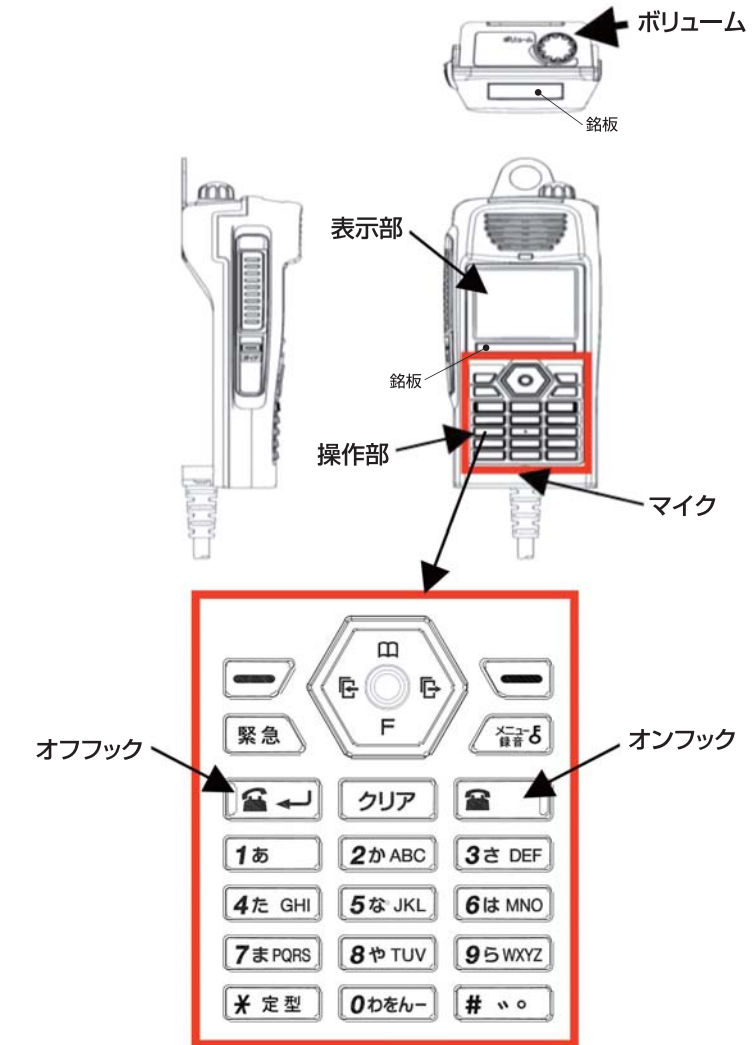
防漫型(JIS保護等級7)の携帯無線機なので、豪雨の中でも使用できます。携帯電話と同じ感覚で使用することができ、災害現場の被害状況等や応急対策業務の進捗状況等を災害対策本部へ報告する際に使用します。



車載型無線装置(37局)

市役所関係車両及び消防団車両に設置しており、災害現場へ向かった職員への情報伝達や災害現場からの情報収集等に使用します。(ダイバーシティ受信方式)

無線の操作方法



(ハンドセット実写)

統制台を呼び出す場合

- ①待ち受け画面表示から、統制台の番号を入力します。
【1】【0】【0】を順に押します。
- ②【オフフック】を押すと相手局を呼び出します。
- ③相手が応答すれば通話できます。
- ④【オンフック】を押すと通話を終了します。
※1回の通話は3分間です。

着信した場合

- ①着信音が鳴動し、相手局の番号が表示されます。
- ②【オフフック】を押すと相手局と通話ができます。
- ③【オンフック】を押すと通話を終了します。

KOMAKI CITY NETWORK SYSTEM

